

サークル Circle クローズアップ 日・光・人 People 人



落合手打ちそばの会

活動内容 そば打ち(月1回)
活動場所 落合公民館
会員 18名
会長 福田 武雄
問い合わせ先 福田 武雄 ☎27-0487

落合手打ちそばの会は、そばを打つのも食べるのも好きな人たちが集まって活動しているサークルです。
落合地区社会福祉協議会が主催する「男の料理教室」でそば打ちを体験した人たちが、福田武雄さんを中心に有志で会を結成したのは平成18年4月のこと。有志仲間の笹木正さんが、全国めん類文化地域間交流推進協議会の素人そば打ち段位認定試験で初段を取得したことも、結成の弾みとなりました。
会の主な活動は、毎月1回の定例会です。平成19年2月に二段を取得している笹木さんが先生役を務め、技術の向上を目指しながらも、楽しくそば打ちに励んでいます。また、落合地区社会福祉協議会が主催する「ひとりぐらし高齢者の交流会」で、手打ちそばを

「腕前が上がって、おいしく食べられる、家族にも喜ばれる、最高の趣味ですよ」と話してくれました。そして、今後の会の目標については「確かな技術を身に付けるため、会員で段位持ちの人を増やしたい」「地域の活性化のために、地元施設の慰問やイベントの盛り上げ役として協力していきたい」などと話してくれました。
そば打ちを体験したい方や入会を希望する方を随時募集中で、そば好きの人ならどなたでも大歓迎のこと。興味のある方は、落合手打ちそばの会でそば打ちを体験してみませんか。



定例会でのそば打ちの様子

振る舞ったり、落合公民館が主催する市民向けの「そば打ち教室」で講師を担当したりと、ボランティア活動にも取り組んでいます。さらに今年は「せつかく合併したのだから」ということで、足尾公民館で11月30日に開催される「そば打ち教室」の講師も引き受けました。足尾地域の人たちとの交流を深めるきっかけにできればと考えているそうです。
会の皆さんは、そば打ちについて「腕前が上がって、おいしく食べられる、家族にも喜ばれる、最高の趣味ですよ」と話してくれました。そして、今後の会の目標については「確かな技術を身に付けるため、会員で段位持ちの人を増やしたい」「地域の活性化のために、地元施設の慰問やイベントの盛り上げ役として協力していきたい」などと話してくれました。

波多江 定夫さん 所野 在住

小田代原や戦場ヶ原でクリーンハイキングを実施している、波多江定夫さんを紹介します。
波多江さんは、ペンションを経営する傍らで、お客さんと一緒にハイキングをしながらゴミ拾いをしています。普通に歩くと約2時間の小田代原から戦場ヶ原のコースを、ゴミを拾い、生育している草花の説明をしながら約4時間かけて歩きます。
もともとは、環境省のパークボランティアとして、開花調査をしながら清掃活動をしていたそうです。「調査で花の名前を覚えていくうちに、咲いている花にだんだん愛着がわいてきました。でも、きれいな花の近くにゴミが落ちていて、その風景に違和感を感じたんです」と波多江さん。そこで、パ



クリーンハイキングの様子。

クボランテア以外でも、たくさんの人たちと一緒に清掃活動をしたいと思い、クリーンハイキングを始めました。波多江さんに、クリーンハイキングを続けていて感じたことを伺うと、「花を勝手に摘んだり、その辺にゴミを捨てたり、まだまだマナーの悪い人たちはいます。でも、ゴミのないところにきれいな花が咲いているのを見ると、やっつけて良かったなと思います。そして、参加者から『とても楽しかった』『機会があったらまたやりたい』などと言葉をかけてもらえるのも嬉しいですね」と答えてくれました。
最後に、今後の目標について、「この活動を通じて、一人でも多くの人に自然を好きになってほしいと思います。そして、ゴミを捨てないなど、ハイキングのルールを守る人をもっと増やしていきたいです」と答えてくれた波多江さん。日光の美しい自然を守るために、これからも頑張ってください。

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

初恋に会えて都会の夜が更ける
青木竜雄
鉄棒の匂い手にする逆上がり
大塩大作
聞き慣れた小言頭を通り過ぎ
小野口英一郎
幸せの旅立ちですか赤いバラ
田中孝
性格の扉へ猪口がノックする
福田恒男
嫁姑無言に慣れて箸を置く
藤本美佐子

俳句 選者 須藤火珠男

焼酎の辛さよ後期高齢者
星野恒志
一日の命を凍と白木樫
齋藤愛華
草取りの卒寿の母の心意気
渡辺ミチ子
もじずり草じつと見上げる道祖神
樽谷ムメ
熟年のままもうしばし鯛雲
湯澤くに
逝く夏を追ひたてている法師蟬
池田三夫

短歌 選者 阿久津伸一

朝に鶯夕に塙近々と鳴きて一人居の寂しさ慰む
高野恒子
藪深く花は見えねど山百合の香りの濃さにバイクを止め佇つ
根立郷美
口笛を吹けば駆けぐる愛犬と穂ばらみ近き稲田道ゆく
狐塚昭子
幾重にも重なる棚田の土手刈りし今日も健康の位を保つ
湯沢登久栄
初音鳴き時は過ぎゆき哀しみを地藏尊は目閉じ思い出起こす
大森トミ子
夕涼み冷えた紅茶を一缶持ち夜影の庭に滝の水音
佐々木清市

募集しています！

クローズアップ日光人では、紹介したい方やサークルを募集しています。ぜひ情報をお寄せください。※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。
また、皆さんからの短歌・俳句・川柳の投稿作品もお待ちしております。なお、氏名にはふりがなを入れてください。
連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)51335